

2025 年度 福岡県看護学会 研究発表支援マニュアル

福岡県看護学会の目的と特色

本学会は、実践に根差した看護研究の支援を通して看護職の学術研究の振興に努め、県民の健康と福祉の向上に寄与することを目的としています。

会員が地元福岡で気軽に参加でき、発表者と参加者がお互いに研鑽し合うことができる「日々の看護を学び合う」学会を目指しています。

また、研究発表を支援する協力体制があります。

福岡県看護協会
〒812-0054 福岡市東区馬出4丁目10番1号
TEL(092)631-1170
FAX(092)631-1175
(福岡県看護学会 事務局)

福岡県看護学会研究発表支援制度について

1. 目 的

この支援制度は、福岡県看護学会の研究の質を高めることを目的として設置されました。

研究発表支援員を多く登録し、多様なテーマに対応するとともに、より多くの会員が研究発表支援員を経験することで、研究指導の能力を高めることも併せて目的としています。

2. 研究発表支援員の役割

研究発表支援員は、発表者の研究結果に対して原稿のまとめ方の支援を行い、最終原稿作成までを支援します。

具体的な役割は次のとおりです。

- 1) 発表者が実施した研究の一連の過程を、研究形式に沿って整理できるように支援する。
- 2) 実施された研究の限界や課題が整理できるように支援する。
- 3) 今後の研究活動に向けて発展的に研究意欲を高めるような支援をする。

3. 研究発表支援員の資格

- 1) 福岡県看護協会員であり、5年以上の実務経験がある。
- 2) 研究発表の経験があり、かつ研究指導の経験がある。

4. 研究発表支援員の任期・再任について

3年間(4月1日から翌3月31日までを一年とする。)です。再任は可能です。

5. 研究発表支援員登録

- 1) 福岡県看護協会員が所属する全施設(看護教育機関、病院他)の施設代表者および職能委員会の推薦により選出されます。
- 2) 研究発表支援員は、任期期間中、看護学会研究発表支援員名簿に登録します。

6. 支援員制度要請条件

原則として、研究発表支援体制のない施設の発表者とする。

7. 研究発表支援員担当の選定

- 1) 学会発表者の研究発表支援員の選定は、原則として学会委員会が専門や得意分野などを考慮して行います。
- 2) 研究発表支援員は、依頼書の受理を持って今年度の研究発表の支援担当となります。

※テーマや演題数により支援を依頼しない年もあります。

8. 研究発表支援員の謝金

1演題につき5,000円をお支払いします。お支払は振込みになります。

9. 経費について

指導を受けるための郵送費等の経費は、発表者が負担します。

10. 研究発表支援員申し合せ事項

- 1) 研究発表支援員就任依頼を6月上旬、今年度の研究発表支援依頼の有無については6月下旬に全員へお送りします。
- 2) 研究発表支援の依頼を受けた方は、2025年8月6日(水)開催の「発表者と支援員のための説明会及び面談会」
にご出席願います。※ZOOM等の運営方法も検討しております。

11. 研究発表支援員の学会参加について

- 1) 今年度、研究発表支援を担当された方の学会参加費は無料です。※学会参加申込は不要です。
- 2) 学会当日のご案内は別途いたします。

12. 発表者とのやりとりについて

- 1) 「発表者と支援員のための説明会及び面談会」について、その後のやり取りを支援員と発表者で確定する

研究発表支援に関する問い合わせ先

福岡県看護協会教育研修部 福岡県看護学会担当
TEL (092)631-1170 FAX (092)631-1175

研究発表支援員が実施する支援プロセス

No.	時期	支援員	支援員制度を活用する 発表者	事務局
1	7月下旬	集録集初稿 原稿受領	7月21日必着 集録集初稿原稿提出	集録集初稿 原稿送付
2	8月6日(水)	「発表者と支援員のための説明会及び面談会」 連絡先、連絡方法、支援の最終目標について打合せ、初回支援		
3	8月6日(水)～ 10月23日(木)	支援 1. 支援は、「研究発表支援における支援の 視点」に基づき実施してください。 2. 支援回数は1回以上とします。 3. 原稿に対するコメントは、原則として相 手方の行き違いを防ぐために、文書 (FAX、mail 等)で実施するようにしてくだ さい。コメントした内容の控えは、支援の経 過がわかるように必ず保管してください。	集録集原稿作成 集録集原稿完成 ・提出	集録集原稿 受領
4	支援～ (可能な限り)	口演発表スライド確認	口演発表スライド・動画作成 口演発表動画完成・提出	口演発表動画受領
5	1月24日(土)	学会		
6	1月31日(土)	支援の報告 1. 支援終了後、「研究発表支援経過報告入 力フォーム」(https://www.fukuoka-kango.or.jp/education/society/6/detail)から回答して下さい。 ※この報告は、研究発表支援経過や研究 発表支援員の指導内容を把握するととも に、今後の研究発表支援員研修や学会運 営に役立てます。		報告書受領

抄録選考の基準

項目		内容
A	表題	内容を適切に表現している
	目的・背景	この研究により何を明らかにしようとしているかが明確である
		研究の意義が明確である
		文献検討が適切である
	方法	研究方法は、研究目的・目標達成のために妥当である
		対象は適切である
		データ収集方法および手順を示している
		分析方法は妥当である
	結果	研究目的に沿った結果を示している
		事実を客観的に示している
		図表の表現・体裁は適切である
	考察	得られた結果に基づいた解釈をしている
		研究目的にそった考察で一貫性がある
B	倫理的配慮	倫理的配慮がなされている
C	発表・価値	看護実践に意味ある事実や知見がある

【B 項目 倫理的配慮の詳細】

倫理的配慮の詳細
対象者(または代諾者)から研究ならびに発表の承諾が得られている
個人が特定されないように配慮している
対象者の不利益が生じないように配慮している
倫理委員会等の倫理審査を受けている
引用文献が明示されている
既存の尺度を使用する場合、開発者の使用許諾を得るかまたは出典を明示している

上記を基準に学会委員会で選考

抄録選考～学会発表のプロセス

